



平成 17年 3月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 17 年 2 月 10 日

上 場 会 社 名 井関農機株式会社

上 場 取 引 所 : 東・大

コ ー ド 番 号 6310

本 社 所 在 都 道 府 県 : 東 京 都

(URL <http://www.iseki.co.jp>)

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長 氏 名 中 野 弘 之

問 合 せ 先 責 任 者 役 職 名 財 務 部 長 氏 名 真 木 康 則 TEL (03) 5604 - 7671

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

・実地棚卸は行っておりません。

・法人税等の計上基準は簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(金額の百万円未満は切り捨て)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年 3月期 第3 四半期	114,937	3.7	4,578	28.5	4,023	46.2
16年 3月期 第3 四半期	110,875		3,564		2,752	
(参考) 16年 3月期	153,624		6,373		5,092	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
17年 3月期 第3 四半期	2,551	30.8	11.69	
16年 3月期 第3 四半期	1,951		8.80	
(参考) 16年 3月期	3,077		13.90	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の売上高は、前年同期比40億円(3.7%)増加し、1,149億円となりました。

国内売上高は、新型ジヤスATトラクターが好調で、トラクター増販16億円等により、22億円(2.2%)増加の1,059億円となりました。海外売上高は、北米市場の売上増加と韓国向け大型コンバインの増加等により、18億円(25.2%)増加の90億円となりました。

営業利益は、売上増加による粗利益増とコストダウンによる原価率改善等により、前年同期比10億1千4百万円(28.5%)増加の45億7千8百万円となりました。経常利益は、支払利息の減少等により前年同期比12億7千万円(46.2%)増加の40億2千3百万円となりました。当第3四半期純利益は、クレジット事業売却益等により、前年同期比6億円(30.8%)増加の25億5千1百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年 3月期 第3四半期	200,445	51,284	25.6	236.24
16年 3月期 第3四半期	211,910	49,274	23.2	221.18
(参考) 16年 3月期	197,156	49,576	25.1	226.85

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年 3月期 第3四半期	5,868	8,954	785	13,372
16年 3月期 第3四半期	6,117	7,004	2,779	17,763
(参考) 16年 3月期	12,368	5,633	26,639	11,029

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の総資産は、前年同期比115億円減少し、2,004億円となりました。

主な減少の内容は、現預金の圧縮53億円、クレジット事業売却による割賦売掛金減少125億円であります。一方、売上の増加とそれに伴う製造会社の仕掛品の増加等により、売上債権が44億円、棚卸資産が23億円それぞれ増加しました。

平成16年10月に円建転換社債型新株予約権付社債100億円を発行しましたが、当第3四半期の有利子負債は785億円となり、前年同期比226億円削減しております。

3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成 16年 4月 1日 ~ 平成 17年 3月 31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通 期	158,000	7,100	6,100	3,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 16円 12銭

(ご参考) 平成17年3月期の単体業績予想(平成 16年 4月 1日 ~ 平成 17年 3月 31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通 期	95,500	3,300	3,500	2,300

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 10円 59銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成16年11月18日に発表した業績予想を、上記の通り修正致します。

売上高は、10月~12月の国内売上高が計画を下廻ったことにより20億円(1.3%)減額し、1,580億円と致します。これに伴い、営業利益は7億円(9.0%)減額し71億円、経常利益は4億円(6.2%)減額し61億円と致します。当期純利益は35億円に変更ありません。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資 産 の 部)					
流 動 資 産	107,971	119,223	11,251	9.4	104,239
現金及び預金	14,429	19,775	5,345	27.0	13,465
受取手形及び売掛金	44,967	40,613	4,353	10.7	33,818
割賦売掛金	884	13,443	12,559	93.4	13,091
棚卸資産	42,694	40,370	2,324	5.8	38,921
その他	5,685	5,738	52	0.9	5,699
貸倒引当金	689	718	28		757
固 定 資 産	92,473	92,687	213	0.2	92,916
1.有形固定資産	79,387	79,989	602	0.8	79,805
建物及び構築物	15,284	15,637	352	2.3	15,516
機械装置及び運搬具	8,518	9,442	924	9.8	9,335
土地	50,435	50,391	44	0.1	50,399
その他	5,148	4,518	630	14.0	4,552
2.無形固定資産	1,085	1,076	8	0.8	1,058
3.投資その他の資産	12,000	11,620	380	3.3	12,052
投資有価証券	7,822	6,944	877	12.6	7,699
その他	4,601	5,154	552	10.7	5,130
貸倒引当金	422	478	55		777
資 産 合 計	200,445	211,910	11,465	5.4	197,156

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負 債 の 部)					
流 動 負 債	97,227	115,396	18,168	15.7	102,196
支払手形及び買掛金	45,982	36,548	9,434	25.8	39,937
短 期 借 入 金	35,078	60,467	25,388	42.0	39,337
社 債 (償還一年以内)	40	40			40
長 期 借 入 金 (返済一年以内)	8,197	9,870	1,672	16.9	10,499
そ の 他	7,928	8,470	541	6.4	12,382
固 定 負 債	50,425	45,779	4,645	10.1	43,924
社 債	10,440	480	9,960	2,075.0	480
長 期 借 入 金	24,574	29,874	5,299	17.7	27,739
再評価に係る繰延税金負債	7,131	7,131			7,131
退職給付引当金	4,577	4,733	156	3.3	4,821
そ の 他	3,702	3,560	141	4.0	3,752
負 債 合 計	147,653	161,176	13,523	8.4	146,121
(少 数 株 主 持 分)					
少 数 株 主 持 分	1,507	1,460	47	3.3	1,458
(資 本 の 部)					
資 本 金	22,534	22,534			22,534
資 本 剰 余 金	11,650	11,645	5	0.0	11,645
利 益 剰 余 金	6,416	3,393	3,022	89.1	4,519
土 地 再 評 価 差 額 金	10,696	10,696			10,696
その他有価証券評価差額金	1,753	1,175	578	49.2	1,584
為替換算調整勘定	0		0		7
自 己 株 式	1,767	170	1,596		1,395
資 本 合 計	51,284	49,274	2,010	4.1	49,576
負債、少数株主持分及び資本合計	200,445	211,910	11,465	5.4	197,156

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売 上 高	114,937	110,875	4,062	3.7	153,624
売 上 原 価	77,345	75,203	2,141	2.8	103,100
売 上 総 利 益	37,592	35,671	1,920	5.4	50,523
販売費及び一般管理費	33,013	32,107	905	2.8	44,149
営 業 利 益	4,578	3,564	1,014	28.5	6,373
営 業 外 収 益	916	800	116	14.5	1,177
受取利息及び配当金	202	143	59	41.2	253
そ の 他	713	656	56	8.7	924
営 業 外 費 用	1,472	1,611	139	8.7	2,459
支 払 利 息	1,115	1,373	257	18.7	1,749
そ の 他	356	238	117	49.2	709
経 常 利 益	4,023	2,752	1,270	46.2	5,092
特 別 利 益	863	541	321	59.4	553
固定資産処分益	39	42	3	7.4	54
投資有価証券売却益	211	62	149	238.5	62
クレジット事業売却益	612		612		
リース事業売却益		341	341		341
保 険 差 益		94	94		94
特 別 損 失	317	458	141	30.8	1,400
固定資産処分損	171	174	2	1.6	473
貸倒引当金繰入額		236	236		566
そ の 他	145	47	98	206.2	359
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,569	2,835	1,733	61.1	4,245
法 人 税 等	1,972	821	1,151	140.1	1,109
少数株主利益(減算)	44	62	18	29.1	58
四半期(当期)純利益	2,551	1,951	600	30.8	3,077

()「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」を「法人税等」として表示しております。

3. (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期)	(参考) 平成16年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,569	2,835	4,245
減 価 償 却 費	2,998	3,357	4,483
受取利息及び受取配当金	202	143	253
支 払 利 息	1,021	1,286	1,620
クレジット事業売却益	612		
リース事業売却益		341	341
売上債権の増減額	9,762	6,555	309
棚卸資産の増減額	3,002	499	1,141
仕入債務の増減額	6,045	872	2,516
その他の	3,737	3,394	1,102
小 計	2,683	4,326	14,824
利息及び配当金の受取額	205	117	254
保険金収入		152	152
利息の支払額	1,067	1,387	1,771
法人税等の支払額	2,323	673	1,090
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,868	6,117	12,368
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得・売却による収支	391	293	252
固定資産の取得・売却による収支	3,520	3,031	4,185
クレジット事業の売却による収入	10,560		
リース事業の売却による収入		767	767
定期預金の純減少額	1,379	9,412	8,988
その他の	143	438	190
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,954	7,004	5,633
財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金純増減額	9,724	4,748	17,887
社債の発行・償還による収支	9,960	7,580	7,580
自己株式の取得・売却による収支	362	55	1,168
配当金の支払額	655		
その他の	3	3	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	785	2,779	26,639
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	90	101
現金及び現金同等物の増減額	2,343	1,802	8,535
現金及び現金同等物の期首残高	11,029	19,565	19,565
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	13,372	17,763	11,029

四半期連結財務諸表作成のための基本となる事項

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社…………… 36社 ((株)井関松山製造所、(株)井関熊本製造所、(株)井関北北海道、
(株)井関東北ほか)

2. 持分法の適用に関する事項

持分法適用会社はありません。

3. 連結子会社の四半期決算日等に関する事項

連結子会社のうち、(株)井関北北海道ほか19社の販売会社及び井関農機(常州)有限公司の第3四半期決算日は9月30日、(株)井関松山製造所ほか14社の第3四半期決算日は12月31日であります。

第3四半期連結財務諸表の作成にあたっては、同日現在の財務諸表を採用し、第3四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

4. 会計処理基準に関する事項

(1)重要な資産の評価基準及び評価方法

有価証券

満期保有目的の債券……償却原価法

その他有価証券

・時価のあるもの……第3四半期連結決算末日の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は全部資本直入法により処理)

・時価のないもの……移動平均法による原価法

棚卸資産……………主として総平均法

デリバティブ……………時価法

(2)重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産

主として工具は定額法、その他は定率法を採用しております。但し、平成10年4月1日以降の新規取得建物(建物附属設備は除く)は定額法。

無形固定資産

定額法(但し、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法)

(3)重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、主として当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当第3四半期連結会計期間末に発生していると認められる額を計上しております。なお、会計基準変更時差異については、15年による按分額を費用処理しております。過去勤務債務については、発生時の従業員の平均残存勤務期間の年数による定額法により費用処理しております。数理計算上の差異については、発生時の従業員の平均残存勤務期間の年数による定額法により、翌連結会計年度から費用処理しております。

(4)重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(5)重要なヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。なお、為替予約が付される外貨建金銭債権債務等については、振当処理を行っております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

イ.ヘッジ手段

為替予約取引及び金利スワップ取引

ロ.ヘッジ対象

外貨建金銭債権債務及び借入金

ヘッジ方針

為替変動リスク及び金利変動リスクをヘッジする為に、為替予約取引及び金利スワップ取引を行っております。

(6)消費税等の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

以 上

17年3月期 第3四半期業績 補足ご説明

1. 連結第3四半期業績 (億円)

	15/12	16/12	増減	率(%)
売上高	1,109	1,149	+ 40	3.7
営業利益	36	46	+ 10	28.5
経常利益	28	40	+ 12	46.2
当期利益	20	26	+ 6	30.8

- 1) 売上高は、前年同期比 40 億円増加し、1,149 億円(3.7%増)になりました。
- ・国内売上高は、10年ぶりにフルモデルチェンジした、ジラスA Tトラクターが引続き好調で、農業機械を中心に 22 億円(2.2%増)増加しました。
 - ・海外売上高は、北米・欧州のトラクター増販等により 18 億円(25.5%増)増加しました。アジアは、韓国向け大型コンバインや田植機の増販により 4 億円増加しました。

	15/12	16/12	増減	(億円)
農業機械	550	565	+ 15	
作業機その他	487	494	+ 7	
国内計	1,037	1,059	+ 22	
輸出製品	59	81	+ 22	
補修部品他	13	9	- 4	
海外計	72	90	+ 18	
売上合計	1,109	1,149	+ 40	

(海外地域別)

	15/12	16/12	増減	(億円)
北米	29	42	+ 13	
欧州	25	30	+ 5	
アジア	3	7	+ 4	
豪州他	2	2	-	
製品計	59	81	+ 22	
部品他	13	9	- 4	
合計	72	90	+ 18	

- 2) 営業利益は、増販による粗利益増とコストダウンにより、一過性の養液施設完工遅れによる採算悪化と、増産に伴なう一時的操業対策費用を吸収し、前年同期比 10 億円増加の 46 億円 (28.5%増) になりました。
- 3) 経常利益は、有利子負債削減による金利減少等により、前年同期比 12 億円増加の 40 億円(46.2%増)となりました。
- 4) 当四半期純利益は、経常利益増益に加えてクレジット事業売却益 6 億円と法人税等の負担増加等により、前年同期比 6 億円増加の 25 億円(30.8%増)となりました。

2. 連結有利子負債削減

- 当第 3 四半期末の有利子負債残高は、平成 16 年 6 月に実施したクレジット事業の売却収入を、借入金返済に充当したこと等により、前年同期比 226 億円削減し 785 億円となりました。今期末残高は計画通り 620 億円となる見込みであります。

(有利子負債残高) (億円)

15/12 実績	16/3 実績	16/12 実績	前年同期比 増減	17/3 計画
1,011	783	785	-226	620

3. 通期業績予想について

- 平成 16 年 11 月 18 日公表の通期業績予想を修正いたします。

(億円)

	従来予想	今回予想	増減	16/3 実績
売上高	1,600	1,580	- 20	1,536
営業利益	78	71	- 7	64
経常利益	65	61	- 4	51
当期利益	35	35	-	31

1) 売上高

- 10 月～12 月の国内売上高が計画を下回ったことを踏まえ 20 億円減額致します。尚、国内製品売上高(1～12 月)は前期比 102%であります。

2) 営業利益

- ・ 営業利益は、第3四半期までは今年度発生した一時的収益悪化要因を増販、コストダウン増でカバーすることができましたが、通期では売上が計画を下回るため、粗利増で吸収しきれず、7億円下方修正いたします。

- ・ 今年度発生した一時的収益悪化要因（10億円）は以下の通りです。

完工遅れによる養液施設採算悪化 - 5億円
増産に伴う一時的な操業対策費用 - 5億円

- ・ その他計画比収益増減要因は以下の通りです。

(計画比)

売上減額による粗利未達 - 6億円
コストダウン増 + 4億円
販管費削減 + 7億円
その他 - 2億円

3) 経常利益

- ・ 経常利益は、有利子負債削減による金利負担が2億円減少したこと等により、4億円下方修正致します。

4) 当期純利益

- ・ 当期純利益は変更ありません。

(ご参考)

- ・ 連結に合わせて単体の公表通期業績予想も修正致します。

(億円)

	従来予想	今回予想	増減	16/3実績
売上高	940	955	+ 15	873
営業利益	33	33	-	24
経常利益	34	35	+ 1	25
当期利益	19	23	+ 4	18

以上